

令和7年度 教職員表彰 表彰式を開催しました

川崎市は、12月23日に川崎市役所本庁舎2階ホールで令和7年度教職員表彰 表彰式を開催いたしました。

本市では平成16年度から、地道な努力を重ね優れた教育実践等を行っている教職員及び教職員組織を表彰しています。

今年度は、児童生徒の意欲の向上や心のケア、学校組織の活性化などを評価し、教職員表彰3名、教職員組織表彰1校を表彰いたしました。

表彰式当日の様子とともに、受賞者及び受賞組織をお知らせいたします。

1 教職員表彰（3名）

(1)川崎市立三田小学校（多摩区） 山本 伸之（やまもと のぶゆき） 教諭

【表彰内容】専科教員として専門性を活かした授業実践と学校運営の活性化

小中9年間を見通した理科教育を実戦し、理科に関する子どもたちの興味関心を高めるとともに、プログラミング教育の環境整備や校務効率化にも尽力し、働き方改革や学年経営にも貢献するなど、多方面で高く評価されています。

(2)川崎市立御幸中学校（幸区） 船場 尚武（ふなば なおたけ） 総括教諭

【表彰内容】校内研修体制の確立による生徒主体の教育目標達成への貢献

OJT研修を企画・運営し、心理的安全性を確保することで職員間の同僚性を高め、協力体制を強化。若手育成やコミュニケーション活性化を図り、学校教育目標の実現に向けた教育活動を充実させるなど、人材育成に大きく貢献しています。

(3)川崎市立橋中学校（高津区） 内満 ゆり（うちみつ ゆり） 総括教諭（養護教諭）

【表彰内容】学校保健の質及び教職員の資質向上の取組

養護教諭として生徒の健康管理を徹底し、医療機関や教職員・保護者と連携した対応を行う。応急処置や具体的な対応をまとめた保健ハンドブックを作成し、若手を育成するとともに、職員全体で健康安全に関する研修を実施し、子どもが安心できる環境づくりに大きく貢献しています。

2 教職員組織表彰（1校）

(1)川崎市立南河原小学校（幸区）

【表彰内容】リーディングDXスクール事業指定校における子ども一人ひとりが主語となる授業の構築

DXスクール事業指定校として一人一台端末を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した授業を実戦。『学び方』の学習で情報活用能力を育成しながら、「子ども一人ひとりが主語となる授業」を開発するなど、先進的な教育実践で高く評価されています。



受賞者の記念撮影
左から、内満、山本、船場、
教育長、南河原小学校関係者(3名)
※敬称略

問合せ先
川崎市教育委員会事務局職員部
教職員人事課 吉田
電話 044-200-0366